

## はじめに

平成11年12月の中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」において、キャリア教育を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要があることが提言されました。また、キャリア教育の実施に当たっては、家庭・地域と連携し、体験的な学習を重視するとともに、各学校ごとに目標を設定し、教育課程に位置付けて計画的に取り組み、さらに、その実施状況や成果について絶えず評価を行うことの必要性なども提言されました。

この答申以後、キャリア教育については、平成14年11月に国立教育政策研究所による調査研究報告書「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」が公表されるなど国レベルでの調査研究が進められてきました。また、文部科学省は、平成16年度には「キャリア教育推進地域指定事業」を、平成17年度には「キャリア教育実践プロジェクト」を実施するなど様々な施策を実施しています。

本県においても、平成16年度からこれらの事業の指定を受けるとともに、平成17年度から、県独自の「キャリア教育推進事業」、「キャリア教育推進フォーラム」（平成17年度は文部科学省と共催で実施、平成18・19年度は「広島県キャリア教育推進フォーラム」として実施）、中・高等学校、特別支援学校のすべての進路指導主事を対象とした「キャリア教育コーディネートセミナー」を実施するなど、キャリア教育の推進に取り組んでいます。

また、平成17年度から19年度までの3年間、キャリア教育実践モデル開発地域として県内の5地域を指定しました。各地域の関係校は、効果的なキャリア教育の実践モデルを開発するために、学習指導案、教材の開発やそれらの有効性の検証に取り組んできました。

この「キャリア教育実践の手引き」は、キャリア教育実践モデル開発地域における実践研究の成果を基に、各校においてキャリア教育を実施するに当たって、どのような点に留意したり工夫したりすればよいか、また、キャリア教育を進めていく過程で課題に直面した場合に、その課題をどのように解決すればよいかなど、キャリア教育を進める上での疑問点や課題に対応できる手引書としてまとめたものです。

キャリア教育は、これまで私たちが行ってきた教育活動を、「子どもたちに、将来社会人・職業人として自立していくために必要な力を身に付けさせることができたか」という視点から見つめ直し、不足していた点、改善すべき点を明らかにして、解決に向けて取り組むことにより、「知・徳・体」の基礎・基本の徹底を図ってきたこれまでの取組みを、より豊かで効果的なものとする手段です。

また、キャリア教育は、新たな「教育県ひろしま」の創造に向けた教育改革、教育の「中身づくり」の取組みを一層推進するための重要な視点といえます。

この「手引き」を活用することにより、子どもたち一人一人の夢をはぐくみ、将来、社会人・職業人として自立していくことができるよう、各学校、家庭、地域等が一体となってキャリア教育の充実に取り組まれることを願っております。